

平成 30 年度

生活における薬の影響と調整

受講対象機関	種別は問いません
対象職種	職種は問いません
受講定員	80 名
日 程	平成 30 年 11 月 1 日 (木)
会 場	北農健保会館 3 階 大会議室 【札幌市中央区北 4 条西 7 丁目】
受 講 料	4,100 円
申込み〆切り	平成 30 年 10 月 26 日 (金)
備 考	

【研修内容】

時間帯	研修科目	研修内容とねらい
9：30～	受付開始	受講料徴収・研修資料配布
9：50～10：00	オリエンテーション	主催者挨拶・スケジュール説明 等
10：00～12：30	研修 1【講義】 利用者が服薬する種類と効能 講師：古田 精一 【北海道科学大学 薬学部 薬学科 社会薬学部門 地域医療薬学分野 教授】	利用者が服用している薬。内科や泌尿器科、時には精神科薬など様々です。基本的な種類と効能、そして薬による影響を学びます。
12：30～13：30	昼食・休憩	
13：30～16：30	研修 2【講義・演習】 施設及び在宅における薬の影響と対応策 講師：三上 寛正 【MT 居宅サービス (株) 代表取締役社長 新さっぽろ訪問看護ステーション 権 所長】	利用者支援において、実際の事例を踏まえながら、薬の影響が考えられた場合の応急処置と対処方法を学びます。
16：30～16：40	※研修効果測定・終了	

【備考】

- ① 受講料は当日、受付にて徴収致します。(領収書を発行致します)
- ② 会場に駐車場はございません。公共の交通機関によりお越し下さい。
- ③ 会場内での飲食は可能です。昼食をご持参ください。
- ④ 会場は室温調整が十分にできないこともございます。衣服等で調整できるようにご準備ください。
- ⑤ 内容・教室は変更の可能性がございます。ご了承ください。

※ 研修当日の緊急連絡先【事務局 090-6447-9559】